

人員体制：18人体制



女満別空港

【これまでの経緯と今後のスケジュール】

2019年 8月23日 会社設立
10月31日 管理者(国、旭川市、帯広市、北海道)と実施契約締結

2020年 1月15日 7空港のターミナルビル会社等の運営を開始
6月 1日 新千歳空港の空港運営事業を開始
10月 1日 旭川空港の空港運営事業を開始
2021年 3月 1日 稚内、釧路、函館、帯広、女満別の5空港の空港運営事業を開始

詳細については弊社ホームページをご覧ください。

https://www.hokkaido-airports.co.jp/uploads/2021/02/WakkanaiKushiroHakodateObihiroMemanbe_tsu-airports_start%EF%BC%88web-ver.%EF%BC%89.pdf

流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が就航開始しました

紋別市 建設部 港湾課

令和3年1月9日(土)、冬のオホーツク観光を代表する流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が新たに運航を開始しました。全長約45メートル、総重量366トン、旅客定員235人、最大速力は時速30キロに達し、船首に搭載された2基のスクリューで流水を割りながら航行します。

IMERU(イメル)とはアイヌ語で「光」を意味し、全国186件の応募の中から、選考委員による協議のもと名付けられたものです。約四半世紀ぶりに新造されたこの船に、紋別の新しい「希望の光」となってもらいたいとの願いを託しました。

ガリンコ号Ⅲ IMERUは先代のガリンコ号Ⅱに比べて、定員数・座席数も増加し、スペースにゆとりあるデザインとなっているほか、2階はバリアフリー対応

となっており、幅広い方々に対して利用しやすい船内となっています。また、船の速度も向上していることから、より流水が身近になりました。

現在、ガリンコ号Ⅱとガリンコ号Ⅲ IMERUの2隻体制で運航しておりますが、新型コロナウイルス感染対策として、それぞれ乗客定員を減らしてご案内しております。

また、ガリンコ号Ⅲ IMERUの就航に合わせて、乗り場である海洋交流館には、紋別市内の飲食店が出店するフードコートがオープンしました。ガリンコ号の流水体験と共に、紋別のグルメをお楽しみください。

ガリンコ号Ⅲ IMERUが紋別市にとって、そして広域観光にとっての先導船、さらには、「観光の産業化」の推進役となるよう、皆様の乗船をお待ちしております。



ガリンコ号Ⅲ IMERU



ガリンコ号Ⅱ



紋別港全景



新設されたフードコート



氷海展望塔オホーツクタワー



ガリンコ号Ⅲ IMERU 船内内装